

*Beppu was built in coexistence with nature, and their living is closely connected to landform. We learned that people in Beppu have utilized what they originally have to give it a use for their everyday life, which is beneficial for our environment, earth, and sustainability.*

別府は人と自然が共生するまちであり、人の営みは地形と密接に関係している。自然の恵みが別府の人々の暮らしを支え、そのことは環境や地球、そして持続可能な地域づくりにとって有益であること学びました。

(Global Exploration Program 体験者のコメント)

### 4択 Quiz!



Global Exploration Program in Beppu  
より出題

Q1: 「湯あみ」とはどのような意味?

- A: 湯をほぐす
- B: 湯に感謝する
- C: 湯に入る
- D: 湯を大切にする

Q2: 下写真(装置)の用途は何?



- A: 加湿する
- B: 洗濯する
- C: 野菜を蒸す
- D: 湯の温度を下げる

(※答えは裏面に記載)

### 「別府らしさ」を、留学生と、スマホを使って

旅先での学びをより深めるために必要なことは何でしょうか? LbE Japan は、「価値観の異なる人達」との「体験」により学びを深める活動を主としていますが、日常を離れて過ごす「修学旅行」のプログラムでは、「その土地ならではの必然性をより意識して活動を組み立てています。見逃してしまいがちな「その土地ならではの姿(=魅力や特徴)」を、より効果的に「見える化」するために、スマートフォンで操作できるアプリケーションやオリジナルのリサーチカードを活用したプログラムを実施しています。



今回は、おんせん県おおいた別府市の鉄輪(かななわ)温泉を舞台に、スマートフォンのアプリを学びのツールとして活用したプログラム=Global Exploration Program in Beppu (以降エクスプロレーション)の事例をご紹介します。異なる文化背景を持つ留学生と協力しながら、温泉都市ならではの生活の知恵やその魅力の背景を深掘りするプログラムです。

### 鉄輪×留学生×スマートフォン

ポイントの高いチームを表彰!



鉄輪温泉は温泉湧出量・源泉数ともに日本一を誇る大分県別府市に位置しています。この地に住む人々は、鎌倉時代から僧侶、一遍上人の教えによって、「地獄」とも呼ばれた負の要素をうまく活用して暮らしてきました。

エクスプロレーションのフィールドワークでは、街中のあちこちから立ち上る湯けむりの元となる「湯」や「湯気」が暮らしや観光に活用されている様子、街の成り立ちや地理的な特徴などを、それぞれにまつわる「場所」で一つ一つミッションをクリアしながら目の当たりにします。

大分県は海外戦略を策定していることもあり、多くの「海外からの留学生」を抱えています。日本人の目で見ても特異な魅力を持つ鉄輪エリアを、留学生と共に彼らの視点も借りながら巡ります。フィールドワークに使用するスマートフォン上のアプリケーションには、事前に位置情報やミッションが設定され、楽しく学びを深めます。自分達だけでは、ただ歩いているだけでは発見できない鉄輪の「全体像」と、「それぞれの場所でふれておくべきモノ・コト」に出会うことができます。

## ミッションを通じて得られるもの

ミッション例：

①「別府の飲泉を試飲して、留学生リーダーに何味か聞いてみよう。」

②「ゆめたけ通りで地元の人に道路がなぜこのような作りになっているのかを聞いて、留学生リーダーに英語で説明している様子をビデオで撮影しよう。」



上記は先日実施されたエクスプロレーションのミッション例です。これらのミッションを「留学生とスマートフォンを使って」クリアしていくことでどのような知識や気づき、学びを得ることが出来るのでしょうか？

①では「試飲する」「自分自身が味わう」「味の感じ方の違いを知る」「表現の違いを知る」「飲泉の成分を知る」「効能を知る」「他のエリアの温泉と比較する」「そのような習慣の有無を比較する」等、

②では「言葉の定義にふれる」「地域の人とコミュニケーションを取る（インタビューする）」「地域の成り立ちを知る」「翻訳して説明する」「活動の様子を記録する」等、

参加者はミッションを通じて「あたりまえ」が通じないことに直面します。環境や文化的背景による「物事の見方や感じ方の違い」の存在に気づき、「違いがある」という前提の重要性も認識していきます。

ミッションに取り組むには知識やスキルを駆使する必要があります。場所を題材としたコミュニケーションが促され、参加者と留学生が互いを知り繋がりを感じることで、目標達成に向けてグループで協力し合う気持ちや行動が生まれます。

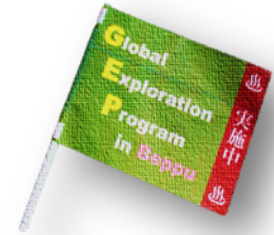
## 「楽しい・おもしろい」が深い学びの入り口に

エクスプロレーションではミッションをクリアする毎に「ポイント」を獲得し、活動終了時には表彰があります。また、活動の記録はアプリケーションに記録され、活動終了後に振り返ることができます。

より多くのポイントを獲得するためにはメンバーの協力が不可欠です。留学生がバックアップをしながらグループで戦略を立て、メンバーそれぞれが個性を活かし、役割を果たすことで「楽しく」ミッション達成を目指していきます。

「ゲームの楽しさ」をベースにスタートしたエクスプロレーションは、やがて参加者の「未知の場所で未知のモノ・コトにふれること」「自分と異なる人達と一緒に活動すること」「異なる地域（鉄輪、地元、留学生の母国）のモノ・コトを比較すること」「違いの背景を深掘りすること」等の「好奇心をベースにした楽しさ」に向き合う姿勢を刺激し、様々なモノ・コトに「？」を持つ（問いを立てる）ためのアンテナを高くしていきます。

エクスプロレーションでの活動そのもので得た鉄輪の知識のみならず、参加者は「フィールドから何を得られるか？」「その背景にどのような理由があるのか？」等、自分の「知りたいこと（＝興味関心）」をベースに深掘りしていく「姿勢」を体験的に学ぶことができます。この体験によって、参加者のその後の生活の様々な場面における「気づき」や「学び」が広がることを願っています。



## 4 択 Quiz! 答え

Q1 答え

C: 湯に入る

Q2 答え

D: 温度を下げる

熱すぎてそのままでは入浴することができない源泉のお湯を、温泉の“泉質”や“鮮度”を損なうことなく加水なしで冷ますことができる竹製温泉冷却装置「湯雨竹(ゆめたけ)」です。

